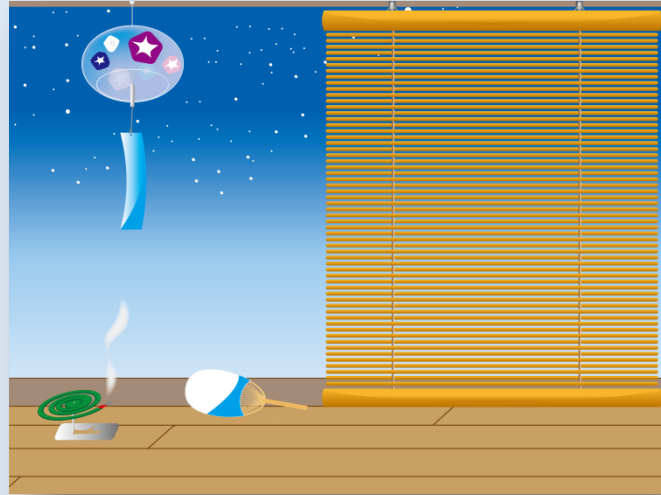


浜松通信 第18号



夏の宵

夕涼み

きずなの会静岡浜松事務所
所長 山崎道生

七夕も過ぎ、炎暑の夏、日中はうんざりする暑さで、気力も萎えてしまいそうです。それでも夕方になると、エアコンを切り、窓を開け、外気に触れたいくなります。かつては縁側に出て、すだれと団扇、風鈴と蚊取り線香などで夕涼みをとる、懐かしい日本の夏の風物詩でした。

警笛を鳴らし、車が駆け抜ける上海の街、蒸し暑い家の中から歩道に縁台を持ち出して一晩中寝入る人々、異様な光景ですが、これが上海の夏の風物詩でもありました。今から30数年前、上海の大学で教壇に立っていた頃の話です。現在では東京並みの高層ビルやマンションが林立するほどの都会となり、日本同様エアコンが室内での生活の基本となっています。しかし、上海の高齢者達は、今の夏の夜は痛いと話します。エアコンは涼しいけど、身体は乾燥するし節々が痛くなる。道で寝るのはうるさいけれど、風が心地よく、知らぬ間に眠ってしまい、目覚めもすっきりしたと。

路傍で寝なくとも、日本では夏の宵をすだれや浴衣で涼をとりました。エアコンとは異なる自然の風の心地よさに浸る、そんな夏のひと時を再び味わいたいですね。

きずなの会の動向

きずなの会浜松も開設後4年と半年が過ぎました。契約会員数も既に150人を超えました。6月15日には福祉関係の専門家対象に開設4周年のセミナーを開催しましたが、定員40人を超える盛況で、きずなの会への関心の高さが窺えます。

サロンに参加する会員も4年が経過する中で徐々に入れ替わりましたが、皆さんの心は同じです。同じ境遇の仲間としての交わりを楽しんでいらっしゃいます。

病院への付添いや、入院中のお世話などの生活支援も毎日のようにありますが、スタッフも増え、余裕がありますので、必要な時は遠慮なくいつでも連絡してください。

会員のきずなを結ぶ機関誌「浜松通信」も第18号となりました。サロンや、供養祭に出掛けられない方も心をつなぐこの通信に今回も声を寄せてくれました。

積極的に作品や声を載せてより素晴らしい「浜松通信」に皆さんと共に育てていきましょう。



メンバーズサロン

第47回 4月サロン 30年4月19日(木) 会員14人

新しい会員が自己紹介しました。

「愛犬を亡くしたロスは、正直妻を失った時以上だった」とお話しの男性会員
「写真がしろいでしょ。おしろだから」と笑いを誘う姫路旅行の女性会員
お二人とも話の内容も話し方も素晴らしかったです。

因みに白い姫路城と黒い松本城のどちらが好きかということで、参加者全員が挙手しましたが全くの同数で、白黒付きませんでした。皆さんはどちらがお好き？

全体会は施設入所について

- ・自宅から施設に移った会員のスピーチ

急に動けなくなったが、自宅だったら困ったが、入所していたので介抱された。

- ・自宅からシニアマンションに移った会員のスピーチ

バス停も近く、買物も近くで足りる。今の自分たちに快適なところを選べた。

所長からのアドバイス

「施設選びは慎重に。現在から終末まで長いスパンでとらえて選ぶことが大切
今の自分に快適なものを選ぶか、介護になった時のことを優先するか、終末時の事を念頭に置くかで異なってきます」

今月の合唱 荒城の月 春の小川

オリジナルゲーム



個人戦は初登場の G 会員が初優勝 お見事です。



自動芝刈り機が庭の芝生をきれいに、私の心もきれいに。この城写ルンです で撮りました。体に良い食べ物でワイワイ 良いものでもたくさん食べると… 初参加で見事優勝 次も自信ありますよ。

第48回 5月サロン 30年5月17日(木) 会員10人

5月らしい爽やかな日となり、気候の良い時期に2,3回参加するご夫婦が久しぶりに参加しました。血圧についてお話があり、それを機に高血圧や薬の服用について話し合いとなりました。いろいろ話が進んだ結果、薬に頼るか、食べ物で工夫するか本人の気持ち次第ということになりました。

二つ目の話題は自宅を離れ、施設に移るタイミングとその覚悟についてです。



近況報告の語り方が朴訥でした。おかしくて皆さん思わず…… 誕生祝いの歌 本人も大声で歌い 誰の誕生日なのか分かりません あなたと同じグループでラッキー この賞品何かしら 開けちゃおう。

第49回 6月サロン 30年6月21日(木) 会員12人

今回初めて参加した方が三人いて自己紹介からはじまりました。きずなの会に入り、安心した日々であること、サロンで仲間と楽しめることなどの話が出ました。全体会では自宅を離れてシニアマンションに移った方の感想が糸口となり施設の話。その後はワールドカップの話になりましたが、熱狂的な人はいなくて話は何となくスポーツにおける外国人の存在についてと変化しました。特に相撲では日本人関取の影の薄さが嘆きとなりました。



私は超ヤングで仕事も元気に 食事もモリモリ 私は超ヤングで仕事も元気に 食事もモリモリ 施設から見えるパノラマ写真 360度天下を眺める気分 浜辺の歌を乙女チックに さすがに高音は…… 登山で鍛えた足と腰 腕は鍛えておらんよ。

4周年記念セミナー

平成30年6月15日(金) 福祉交流センター 403会議室 定員40人 参加者42人
包括支援センター 社協 居宅介護、高齢者施設 病院の相談員等専門家対象のセミナー
です。きずなの会のシステムの説明と4年間の現状、また不動産処分の基礎知識とその法的
制約について三人で講話しました。皆さん熱心に耳を傾け、質問が次々に出てきずなの会へ
の関心の高さが見られました。



きずなの会のシステムについて

参加者は真剣そのもの

質問も活発でとても盛り上がりました。

プロジェクターで分かり易い所長の説明

メモを取りながら集中しています。丁寧に答え、皆さん納得

会員の作品



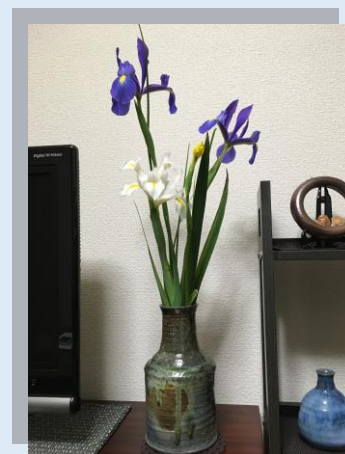
SY会員の布絵



FS会員の作品



MM会員の陶芸作品



会員の声

ST 会員

息子は病気になり、娘は嫁いでいるから、思うようにならなくなり、最後はきずなの会でお世話になりたいと考え入会した。サロンには参加できないが、通信を見て、だいたいのことは分かる。ふらつきもあるので、転んだら大けがなので病院受診には付き添ってもらっている。以前喘息で3回ほど苦しんだ。1回目は救急車で運ばれた。2回目は娘に連れて行って貰い湖西の病院へ、きずなの会に入った後の3回目は昨年10月、きずなの会に電話した。すぐに来てくれて掛かり付けの病院へ行けた。いつ何どきに起こるか不安だが、いつでもすぐに駆け付けてくれるという安心感がある。手術の立会もしてくれた。家族は仕事もあり忙しいので、きずなの会に入って本当に良かったと思っている。



O 会員

夫は中学出て予科練に入った。終戦で帰ることが出来た。戦後は裁判所の書記や静岡県庁で働いた。結婚後は実家の農業を継いだが暮ばかり打っていて、58歳で亡くなった。子供は三人いたが二人が死んだ。残りの一人は他県にいるが子供3人で日々追われている。自分の兄弟は11人いたが今は5人だけ。それもたまに電話があるだけ。今は施設でトランプや歌を聴いたりして皆でワイワイするのが楽しみ。きずなの会は入院した時もずっと付き添ってくれて通院も同行してくれる。みんな人当たりが良い。遠い親戚よりも近くの他人と言うけど、そのとおり。きずなの会に全て任せて安心している。

IM 会員

浜松通信17号読みました。(私は家でごろごろしているよりは)自分で(積極的に)用事を作らねばと思い 横浜の海づくり公園の初心者講習会に出かけてきました。4時半ごろになると真っ白な巡視船が連なってカーブを切って港に入っていくのが見えました。魚よりも船を見るのがいいので。釣りをダシにまた行こうと思います。



会員の創作 俳句 と 川柳

俳 句

K T 会員

額紫陽花母と愛でし日蘇る

フロントに照る照る坊主走り梅雨

星祭主治医と飾る小児棟

川 柳

M M 会員

スーパーの冷氣シェアするイートイン

防犯カメラ拾う百円のぞき見る

化粧落とし丸い眉毛の仏顔



TR 会員作 キャンプ 他4点

NPO 法人きずなの会浜松事務所

〒 430-0933

浜松市中区鍛冶町 140-4

浜松 A ビル北館 5D

☎ 053-489-3815